

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会

SOLAS小委員会（第25期・第1回）議事要旨

1. 日時 令和3（2021）年9月3日（金）10:00～11:25
2. 会場 Zoomによる遠隔会議
3. 出席者：植松 光夫、張 勁、原田 尚美、相木 秀則、伊藤 彰記、岩本 洋子、  
亀山 宗彦、武田 重信、谷本 浩志、角皆 潤（途中出席）、中岡 慎一郎、  
西岡 純、濱崎 恒二、宮崎 雄三、安中 さやか  
欠席者：野村 大樹
4. 配布資料  
資料1： 第25期SOLAS小委員会 設置提案書  
資料2： 第25期SOLAS小委員会 委員名簿  
資料3： 委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン
5. 議事内容  
議事に先立ち、世話人の宮崎委員から資料1に基づき、本小委員会の設置目的と活動方針について説明があった。資料2の名簿確認と委員各自の自己紹介があった。
  - (1) 第25期SOLAS小委員会役員を選出について
    - ・宮崎委員を委員長、安中委員と岩本委員を幹事に選出した。
  - (2) 議事要旨の委員長一任について
    - ・資料3に基づき、宮崎委員長から説明がなされ了承された。
  - (3) 第25期の活動内容について
    - ・国内関連学会として、JpGUでのSOLAS関連セッションについて、亀山委員より最近2年間の開催状況について報告・説明があった。併せて宮崎委員長より、大学等の共同利用による関連研究集会の継続的な開催など、小委員会委員や関係研究者の積極的なコミットについて依頼があった。
    - ・宮崎委員長より毎年SOLAS-IPOに提出しているNational Reportについて、日本の関連研究のアピールの場としての重要性などの説明があった。今後も引き続き関連する研究活動について積極的な情報提供の依頼があった。
    - ・他の小委員会との連携について、谷本委員よりIGACとの連携に関し、極域でのCATCH等との連携や沿岸域の大気海洋汚染物質や健康影響といった国際的な動

向について説明があり、日本がリードできるテーマの可能性についてもコメントがあった。また、西岡委員からGEOTRACESとの連携について、栄養塩・鉄の沈着に関する国際SOLASでの連携を例にコメントがあった。

- ・宮崎委員長より、SOLAS-Japanコミュニティにおける情報共有・情報交換を目的としたメーリングリストを新たに設ける提案がなされた。複数の委員より情報提供・提案があった「さくらインターネット」のサービスを利用し、国内の関連研究者を随時登録してのメーリングリストを設けることとした。
- ・SOLAS-Japanウェブサイトは当面、昨年春の立ち上げ時から関わっている亀山委員、安中委員、中岡委員、西岡委員、宮崎委員長によって引き続き管理されることが確認された。
- ・SOLAS-Japanの会計管理は、西岡前委員長から宮崎委員長へ引き継がれることになった。

#### (4) 報告事項

- ・国際SOLASのSSC委員である西岡委員より、SSCにおける最近の動向・議論内容について報告と情報提供があった。この中で、2021年からのSSC議長の交代、西岡委員の任期が終わる来年以降引き続き日本からSSC委員候補を出す希望、SCORのレビューを受けるSOLASの直近5年間の活動レポートが提出された旨、UN Decadeとの関わりについて今後議論がある旨の報告があった。その他の関連国際会議についても情報が提供された。

#### (5) その他

- ・令和5～7年度学術研究船白鳳丸共同利用研究の公募に関し、濱崎委員より国内SOLASとしての研究航海計画応募の提案があり、対象となるサイエンスや海域について、委員間で意見交換がなされた。各委員からの意見を集約し、濱崎委員が計画案として取りまとめることとなった。
- ・9月16日開催予定のカーボンニュートラル連絡会議にSOLAS小委員会として参加予定の旨と今後の情報共有について、宮崎委員長より連絡があった。

以上。